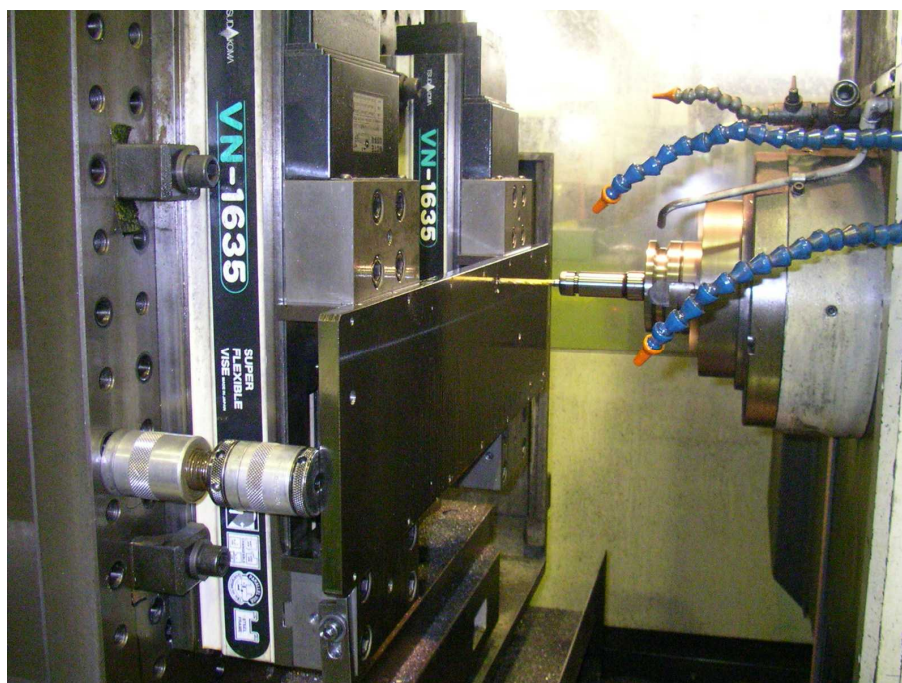


平成18年度 環境保全活動報告書



KSK 湖国精工株式会社

<http://www.kokokuseiko.co.jp>

環境方針

環境理念

湖国精工株式会社は、軸受産業等をサポートする機械設備メーカーとして、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、併せて琵琶湖と共生することを意識して事業活動のあらゆる面で環境優先を配慮して行動する。

行動指針

我々は、環境問題への取り組みが我々の存在と活動に必須の要件と認識し、積極的に行動する。

- 1. 環境関連の法律・規制を遵守し、環境汚染の防止に努め、環境マネジメントシステムの構築と、継続的な改善を図る。
- 2. 環境管理の組織・運営を整備し、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
- 3. 環境負荷を軽減させるため次の目的及び目標を明確にして取り組む。
 - (1) 廃棄物の削減および有効利用
 - (2) 社内外における省エネルギー活動
 - (3) グリーン適合製品の調達
- 4. 環境に関する社会活動により、地域社会に貢献する。

環境保全の歩みと取り組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負荷の少ない持続可能な街づくりに、自主的・主体的に行動するとともに協働して取り組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネジメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

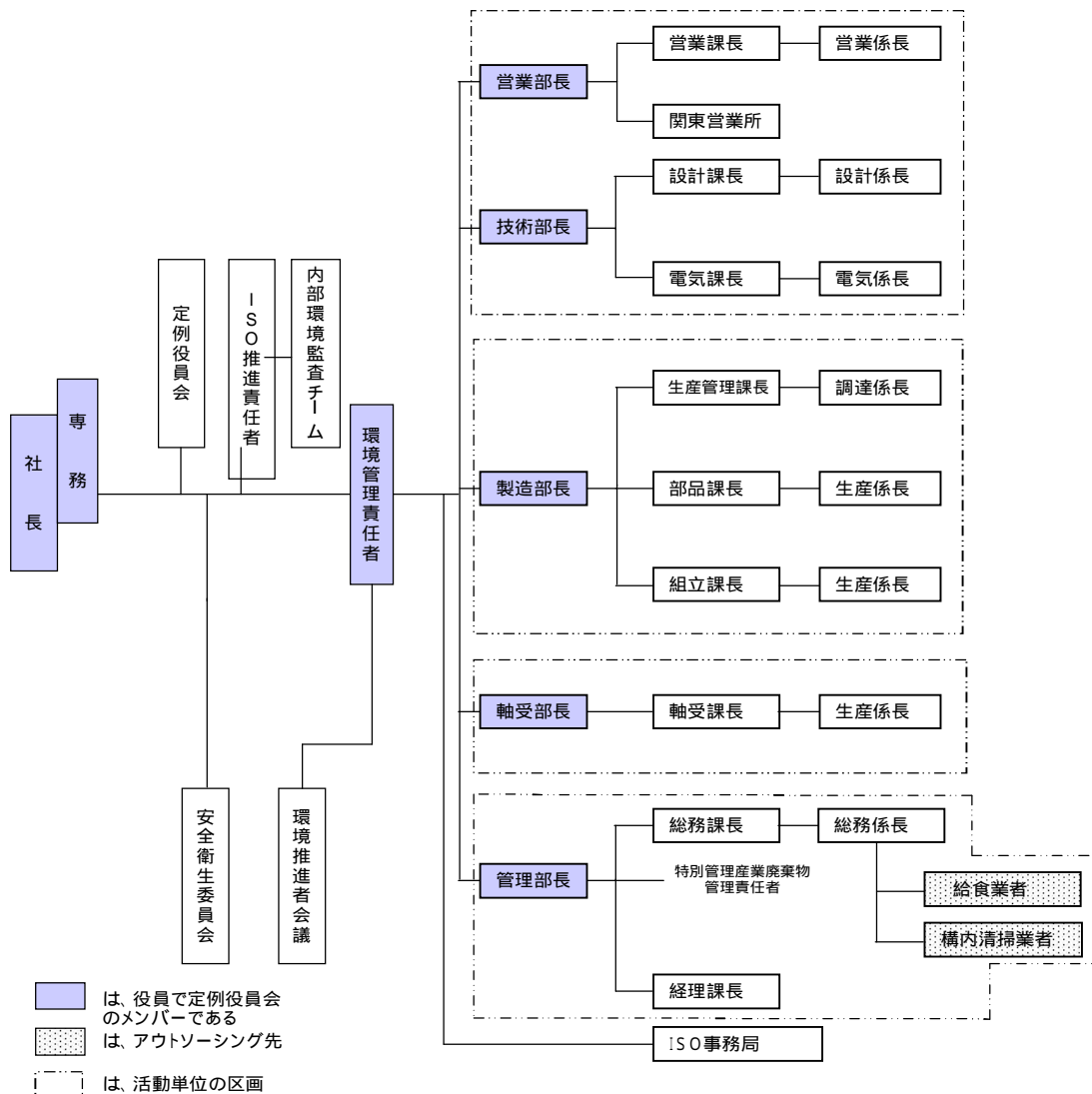
(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回、市に報告する。昨年に引き続き、平成18年度の報告を致します。

主な環境取組み

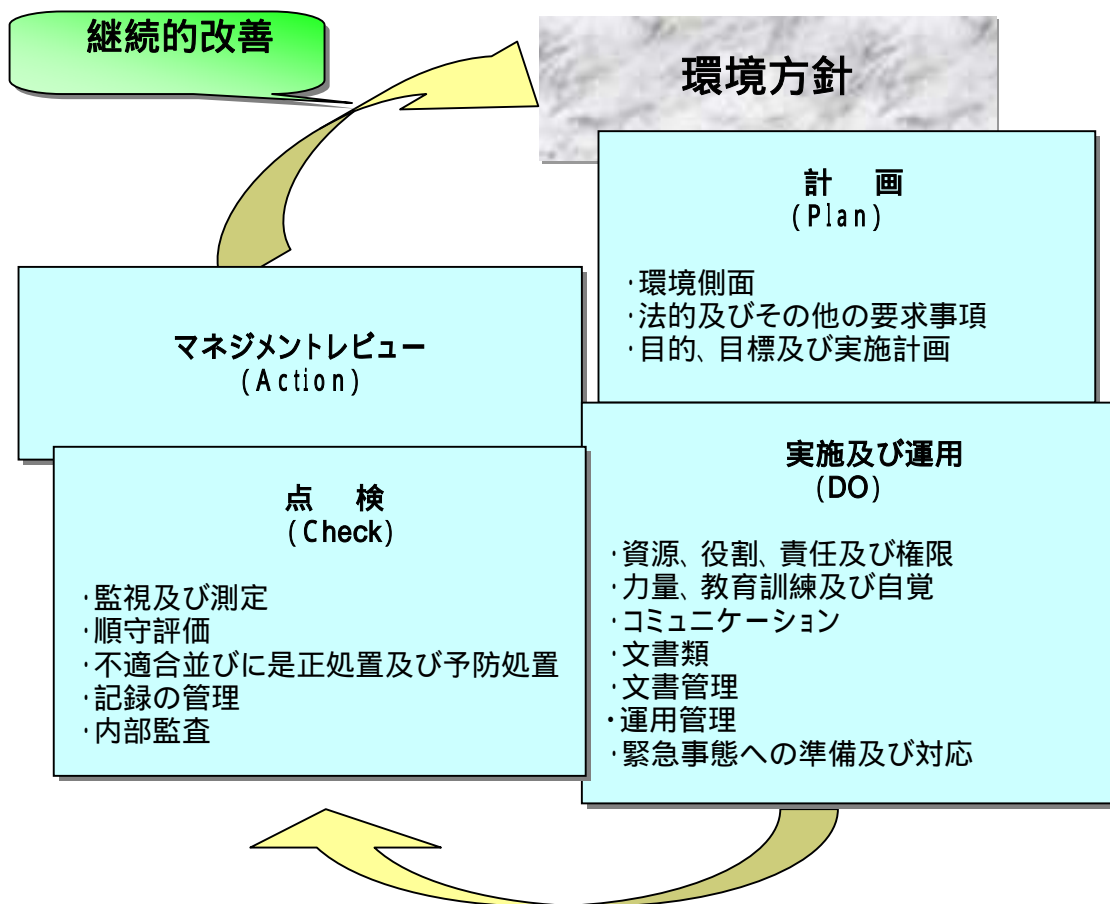
- 廃棄物の削減及び有効利用
- 木枠・段ボール等の分別と持込む業者への返却
- 原単位電力量の削減
- グリーン適合製品調達範囲拡大
- 危険物の貯蔵量の削減
 - 少量保管量以下を目標に最低限貯蔵所を確保
- 産業廃棄物の削減
 - 含油排水の削減
 - 機械部品洗浄の不水化
- 用紙の削減(コピー用紙購入量)
 - 電子データの活用
- 環境に関する社会活動(地域社会への貢献)
 - 盛越川の定期清掃などに参画
- アイドリングストップの要請
 - 構内停車時の励行

環境管理組織体系図



環境マネジメントシステムについて

～ P・D・C・A サイクルによる、継続的改善の管理システム ～



P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。

汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行なう。

環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行うために環境影響の原因である環境側面を抽出し、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。

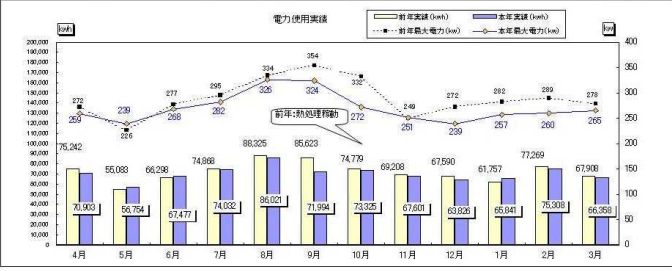
環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。



あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行なわれ、トップの方針に基づき、全員参加で環境負荷を低減するシステムである。

環境目的・目標 実施計画

		平成 18 年 度	
		目 的	目 標
環境 方針	廃棄物の削減 及び有効利用		・木枠・ダンボール等の分別と持込み業者への返却 ・雑廃ゴミ減量化(100,000円/月を10%節減)
	社内外における 省エネルギー活動		・使用電力量の削減 使用量70,000kwh/月 69,000kwh/月へ
	グリーン適合製品 の調達		・グリーン適合製品調達範囲拡大 事務用品調達金額比 62.5%/月
著しい 環境 側面	危険物の貯蔵量 の削減		・少量保管量以下を目標に最低限の少量貯蔵所を確保 ・塗料開缶品の削減
技術上 の課題	産業廃棄物の削減		・含油廃水の半減 (機械部品洗浄の不水化) ・ドライアイス洗浄の実用性の確認
事業上 の要求 事項	用紙の削減		・コピー用紙購入量の削減 目標月平均49,000枚 ・電子データの活用
利害 関係 者の 課題	環境に関する 社会活動 (地域社会への貢献) アイドリングストップ の要請 隣地境界の騒音・悪臭・ 振動等の定期監視		・盛越川の定期清掃などに参画 (ふるさと盛越川を愛いする会に参加) ・構内停車時の励行 (外部業者へのPR) ・定期的な計測実施による監視

環境管理活動 実施報告

		平成18年度																																																																																																	
		施策	実施																																																																																																
環境方針	<p>・持込業者へダンボール等の引き取り要請</p>	<p>・通い箱の活用とダンボール類の回収継続</p> <p>廃棄運搬処理費用 前年通期 1,303,050 円 環境目標 1,053,000 円 実績 930,300 円 前年比 -372,750 円 環境目標以上の実績がでた。</p> <p>・月額では100,000円の10%節減を目指したが、平成18年度は77,525円で目標に対し-12%となった。</p>																																																																																																	
	<p>・全社使用電力の削減</p>	<p>電力量 前年通期 863,950 kwh 環境目標 829,500 kwh 実績 839,440 kwh 前年比 -24,510 kwh 環境目標には僅か届かなかったが、</p>	<p>2005年度～2006年度 全社電力使用量実績対比</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">前年:平成17年4月～平成18年3月</th> <th colspan="2">本年:平成18年4月～平成19年3月</th> <th colspan="2">計</th> <th colspan="2">平均</th> </tr> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>前年排社量</th><th>本年排社量</th><th>前年比排社量</th><th>前年比排社量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75,242</td><td>55,083</td><td>66,298</td><td>74,868</td><td>88,205</td><td>85,623</td><td>74,779</td><td>69,208</td><td>67,590</td><td>61,757</td><td>77,269</td><td>67,908</td><td>3,460</td><td>298</td><td>3,242</td><td>270</td> </tr> <tr> <td>599</td><td>294</td><td>289</td><td>282</td><td>326</td><td>324</td><td>272</td><td>261</td><td>299</td><td>287</td><td>263</td><td>285</td><td>86,365</td><td>71,906</td><td>83,443</td><td>69,950</td> </tr> <tr> <td>-4,839</td><td>1,671</td><td>1,179</td><td>-835</td><td>-2,304</td><td>-13,639</td><td>-1,454</td><td>-1,607</td><td>-3,764</td><td>4,084</td><td>-1,981</td><td>-1,780</td><td>-24,810</td><td>-2,043</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td colspan="12">前年対比率</td> <td>-5.8%</td><td>3.0%</td><td>1.8%</td><td>-1.1%</td><td>-2.6%</td><td>-15.9%</td><td>-1.9%</td><td>-2.3%</td><td>-5.6%</td><td>6.6%</td><td>-2.5%</td><td>-2.3%</td> </tr> </tbody> </table>	前年:平成17年4月～平成18年3月		本年:平成18年4月～平成19年3月		計		平均		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年排社量	本年排社量	前年比排社量	前年比排社量	75,242	55,083	66,298	74,868	88,205	85,623	74,779	69,208	67,590	61,757	77,269	67,908	3,460	298	3,242	270	599	294	289	282	326	324	272	261	299	287	263	285	86,365	71,906	83,443	69,950	-4,839	1,671	1,179	-835	-2,304	-13,639	-1,454	-1,607	-3,764	4,084	-1,981	-1,780	-24,810	-2,043			前年対比率												-5.8%	3.0%	1.8%	-1.1%	-2.6%	-15.9%	-1.9%	-2.3%	-5.6%	6.6%	-2.5%	-2.3%
	前年:平成17年4月～平成18年3月		本年:平成18年4月～平成19年3月		計		平均																																																																																												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年排社量	本年排社量	前年比排社量	前年比排社量																																																																																				
75,242	55,083	66,298	74,868	88,205	85,623	74,779	69,208	67,590	61,757	77,269	67,908	3,460	298	3,242	270																																																																																				
599	294	289	282	326	324	272	261	299	287	263	285	86,365	71,906	83,443	69,950																																																																																				
-4,839	1,671	1,179	-835	-2,304	-13,639	-1,454	-1,607	-3,764	4,084	-1,981	-1,780	-24,810	-2,043																																																																																						
前年対比率												-5.8%	3.0%	1.8%	-1.1%	-2.6%	-15.9%	-1.9%	-2.3%	-5.6%	6.6%	-2.5%	-2.3%																																																																												
<p>・グリーン適合製品調達範囲拡大</p>	<p>・事務用品適合製品調達金額比62.5%以上を目標とするも、平成18年度(19年3月末)57.6%であった。</p> <p>各部署には環境商品のみが掲載された事務用品カタログを配布し、発注担当者へ啓発も行なったが数値的には社内目標に及ばなかった。</p> <p>引き続き啓発や適用商品の発掘に努める。</p>																																																																																																		

平成 18 年 度		
	施 策	実 施
著しい 環境 側面	<ul style="list-style-type: none"> ・機械試運転時の切削潤滑油の客先へ返却 ・塗料缶置場の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作した機械を納品時に、試運転で使用したマシンオイル類を一緒に返却するように定型化した。 ・少量危険物貯蔵取扱所を設置し、基準量を超えないように毎日点検を実施、継続中。 
技術上 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波洗浄機の調査 ・ドライアイス洗浄機 (ICE TECH) の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から運用を開始  <p>ペレット状のドライアイスを吹き付けることで洗浄作業による不水化を狙ったものであるが、活用できる対象の製品が少なく、データ取りは難航。同時並行で一定量の洗浄液を何度も使いまわせるパーツクリーナーを導入。廃水の削減に資する。</p>

		平成 18 年 度																																																																																											
		施 策	実 施																																																																																										
事業上の要求事項	・コピー用紙購入量の把握と追跡	<p>全社で購入しているコピー用紙は、月平均目標49,000枚を設定するも通期平均で50,000枚となり未達となった。</p> <p>裏紙の使用・両面印刷等の推進により意識高揚に繋がったと思われる。集計は一括集計からサイズ別集計へ移行し、よりきめ細かく実情を把握できるようにした。</p>	<p>全社コピー用紙購入実績</p> <table border="1"> <caption>全社コピー用紙購入実績データ (単位:枚)</caption> <thead> <tr> <th>月度</th> <th>4月度</th> <th>5月度</th> <th>6月度</th> <th>7月度</th> <th>8月度</th> <th>9月度</th> <th>56上平均</th> <th>10月度</th> <th>11月度</th> <th>12月度</th> <th>1月度</th> <th>2月度</th> <th>3月度</th> <th>56下平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 4</td> <td>57,500</td> <td>30,000</td> <td>22,500</td> <td>50,000</td> <td>40,000</td> <td>37,500</td> <td>39,583</td> <td>25,000</td> <td>49,500</td> <td>25,000</td> <td>47,500</td> <td>37,500</td> <td>30,000</td> <td>36,750</td> </tr> <tr> <td>A 3</td> <td>10,500</td> <td>7,500</td> <td>7,500</td> <td>9,000</td> <td>7,500</td> <td>12,000</td> <td>9,000</td> <td>6,000</td> <td>12,500</td> <td>9,000</td> <td>10,500</td> <td>12,000</td> <td>6,000</td> <td>9,333</td> </tr> <tr> <td>B 4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,500</td> <td>417</td> <td>0</td> <td>3,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,500</td> <td>2,500</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>B 5</td> <td>2,500</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,500</td> <td>833</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,500</td> <td>0</td> <td>2,083</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70,500</td> <td>37,500</td> <td>30,000</td> <td>59,000</td> <td>47,500</td> <td>54,500</td> <td>49,833</td> <td>31,000</td> <td>65,000</td> <td>34,000</td> <td>58,000</td> <td>74,500</td> <td>38,500</td> <td>50,167</td> </tr> </tbody> </table> <p>半期累計 299,000</p> <p>半期累計 301,000 合計 600,000 通期平均 50,000</p>	月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	56上平均	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	56下平均	A 4	57,500	30,000	22,500	50,000	40,000	37,500	39,583	25,000	49,500	25,000	47,500	37,500	30,000	36,750	A 3	10,500	7,500	7,500	9,000	7,500	12,000	9,000	6,000	12,500	9,000	10,500	12,000	6,000	9,333	B 4	0	0	0	0	0	2,500	417	0	3,000	0	0	12,500	2,500	3,000	B 5	2,500	0	0	0	0	2,500	833	0	0	0	0	12,500	0	2,083	合計	70,500	37,500	30,000	59,000	47,500	54,500	49,833	31,000	65,000	34,000	58,000	74,500	38,500	50,167
	月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	56上平均	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	56下平均																																																																														
A 4	57,500	30,000	22,500	50,000	40,000	37,500	39,583	25,000	49,500	25,000	47,500	37,500	30,000	36,750																																																																															
A 3	10,500	7,500	7,500	9,000	7,500	12,000	9,000	6,000	12,500	9,000	10,500	12,000	6,000	9,333																																																																															
B 4	0	0	0	0	0	2,500	417	0	3,000	0	0	12,500	2,500	3,000																																																																															
B 5	2,500	0	0	0	0	2,500	833	0	0	0	0	12,500	0	2,083																																																																															
合計	70,500	37,500	30,000	59,000	47,500	54,500	49,833	31,000	65,000	34,000	58,000	74,500	38,500	50,167																																																																															
	・社内規定類保管のデータ - 化	<p>・各種規程類のデータ化推進</p> <p>社内で運営している社員会の規程も情報一元も踏まえ改定時ごとに電子データで閲覧できるようにした。</p> <p>総会後の第2版改定差替え実施。</p>																																																																																											

		平成18年度	
		施策	実施
利害関係者の課題	・盛越川の定期清掃などに参画	・7月に社員13名により盛越川の清掃を行う。	
	・アイドリングストップの要請	・アイドリングストップ啓発を促すため看板や幟の励行を継続し、社員と同様の意識共有を推進。	
	・隣地境界の騒音・悪臭・振動等の定期監視	<p>・定期的な計測実施による監視</p> <p>8月及び2月に定例として騒音・悪臭・振動の監視を行なっている。</p> <p>基準値に対し全てクリアしている。継続的監視をし、環境及び近隣住民の皆様への負荷低減に努める。</p> <p>(-2へ続く)</p>	

直近平成18年2月(年2/2回目)実績

基準値70dB

敷地境界線における騒音測定結果

測定場所	湖国精工株式会社		
測定点	1	時間区分	昼
測定日時	平成19年2月14日(水) 9時56分 ~ 10時06分		
測定者	山本 泰弘		
気象			
天気	雨	気温	9.5 °C
風向	南東	湿度	90 %
風速	0.3 m/sec	気圧	997 hPa
騒音計		測定器	
レコーダー		リオン NL-06 (00702434)	
聴感補正		リオン LR-20A (10240477)	
動特性		A特性	
		FAST	

測定結果										
末位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1位	62	63	64	63	65	63	64	64	64	63
10位	63	63	63	64	63	63	63	63	63	63
20位	63	62	63	62	62	62	62	63	63	62
30位	62	62	62	64	63	62	63	64	64	63
40位	63	62	62	62	62	63	62	62	63	63
50位	62	62	63	62	61	62	62	61	61	61
60位	62	61	61	61	61	61	63	62	61	61
70位	62	61	61	62	61	61	61	62	61	61
80位	61	61	62	63	62	62	61	62	61	61
90位	62	62	61	61	62	62	61	61	62	61

累積度数										
末位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
40位										
50位										
60位		27	39	25	8	1				
70位		27	66	91	99	100				
80位										

騒音レベル	中央値	90%レンジ下端値	90%レンジ上端値	平均値
	62 dB	61 dB	64 dB	62 dB

累積度数分布

度数分布

基準値65dB

敷地境界線における振動測定結果

測定場所	湖国精工株式会社		
測定点	1	時間区分	昼
測定日時	平成19年2月14日(水) 9時56分 ~ 10時06分		
測定者	山本 泰弘		
気象			
天気	雨	気温	9.5 °C
風向	南東	湿度	90 %
風速	0.3 m/sec	気圧	997 hPa
振動計		測定器	
レコーダー		リオン VM-52 (00703133)	
振動感覚補正		リオン LR-20A (10240477)	
動特性		鉛直振動特性	
		VL	

測定結果										
末位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1位	33	33	34	34	35	33	35	33	37	35
10位	35	33	35	34	34	34	34	34	34	33
20位	33	33	33	34	34	34	34	33	33	34
30位	33	33	34	33	34	34	34	33	33	34
40位	34	34	34	33	33	32	32	32	32	35
50位	33	33	32	33	33	33	34	33	33	32
60位	32	33	33	32	32	34	32	32	32	32
70位	32	32	32	32	33	33	33	33	32	32
80位	32	33	33	33	36	32	32	32	32	33
90位	32	33	32	33	32	32	32	33	32	32

累積度数										
末位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
20位										
30位				30	38	23	7	1	1	
40位				30	68	91	98	99	100	
50位										
60位										

振動レベル	中央値	80%レンジ下端値	80%レンジ上端値	平均値
	33 dB	32 dB	34 dB	33 dB

累積度数分布

度数分布

悪臭測定結果 基準値 0.01ppm

測定年月日	平成19年2月14日	時間	10:23~10:43	天候	雨
事業場の名称	湖国精工株式会社				
所在地	滋賀県大津市晴風2-3-13				
測定名	敷地境界における有機溶剤濃度測定				
試料採取場所	当該事業場内の敷地境界位置 (①: 別紙参照)				

分析結果を次の通り報告します。

測定点	項目名	分析結果(単位: ppm)	分析方法
①	トルエン	0.01未満	活性炭管による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	酢酸-n-ブチル	0.01未満	活性炭管による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	キシレン	0.01未満	活性炭管による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	酢酸エチル	0.01未満	活性炭管による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	メチルエチルケトン	0.01未満	活性炭管による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	メタノール	0.01未満	シリカゲル管による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法